

複素数平面において、次の問に答えよ。

- (1) 異なる2点 w_1, w_2 を通る直線上の点 z を媒介変数 t を用いて表せ。
- (2) (1) において t を消去し、 z と \bar{z} の関係式を求めよ。
- (3) w_1, w_2 を結ぶ線分の垂直二等分線を、 $\alpha z + \beta \bar{z} = \gamma$ の形で表せ。ただし、 α, β, γ は w_1, w_2 で表されるものとする。
- (4) 実軸および虚軸上にない点 $A(w)$ と点 $B(\bar{w})$ について、 $\triangle OAB$ の外心に対応する複素数 v を求めよ。ただし、 O は原点である。

(18 大阪教大 3)

【答】

- (1) $z = w_1 + t(w_2 - w_1)$ (t は実数)
- (2) $(\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z - (w_2 - w_1)\bar{z} = w_1\bar{w}_2 - \bar{w}_1w_2$
- (3) $(\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z + (w_2 - w_1)\bar{z} = w_2\bar{w}_2 - w_1\bar{w}_1$
- (4) $v = \frac{w\bar{w}}{w + \bar{w}}$

【解答】

- (1) w_1, w_2, z が表す点をそれぞれ A_1, A_2, P とおく。 P は直線 A_1A_2 上の点であるから

$$\overrightarrow{A_1P} = t\overrightarrow{A_1A_2} \quad (t \text{ は実数})$$

と表すことができ、これを複素数で表すと

$$z - w_1 = t(w_2 - w_1) \quad (t \text{ は実数})$$

$$\therefore z = w_1 + t(w_2 - w_1) \quad (t \text{ は実数}) \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。

- (2) ① をさらに変形する。

$$\textcircled{1} \iff \frac{z - w_1}{w_2 - w_1} \text{ は実数} \quad (\because w_1 \neq w_2)$$

$$\iff \frac{z - w_1}{w_2 - w_1} - \overline{\left(\frac{z - w_1}{w_2 - w_1}\right)} = 0$$

$$\therefore \frac{z - w_1}{w_2 - w_1} - \frac{\bar{z} - \bar{w}_1}{\bar{w}_2 - \bar{w}_1} = 0$$

$$\therefore (\bar{w}_2 - \bar{w}_1)(z - w_1) - (w_2 - w_1)(\bar{z} - \bar{w}_1) = 0 \quad (\because w_1 \neq w_2)$$

よって、求める関係式は

$$(\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z - (w_2 - w_1)\bar{z} = w_1\bar{w}_2 - \bar{w}_1w_2 \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。

- (3) $P(z)$ が $A_1(w_1), A_2(w_2)$ を結ぶ線分の垂直二等分線上にある条件は

$$A_1P = A_2P \iff |z - w_1| = |z - w_2|$$

$$\iff |z - w_1|^2 = |z - w_2|^2$$

$$\iff (z - w_1)(\bar{z} - \bar{w}_1) = (z - w_2)(\bar{z} - \bar{w}_2)$$

$$\iff z\bar{z} - \bar{w}_1z - w_1\bar{z} + w_1\bar{w}_1 = z\bar{z} - \bar{w}_2z - w_2\bar{z} + w_2\bar{w}_2$$

$$\iff (\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z + (w_2 - w_1)\bar{z} = w_2\bar{w}_2 - w_1\bar{w}_1$$

である。

よって、求める関係式は

$$(\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z + (w_2 - w_1)\bar{z} = w_2\bar{w}_2 - w_1\bar{w}_1 \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。

- (2) の利用を考える.

線分 A_1A_2 の中点を $A_M(w_M)$ とし, A_2 を A_M のまわりに $\frac{\pi}{2}$ 回転した点を $A_3(w_3)$ とおくと, (2) より, 求める方程式は

$$(\bar{w}_3 - \bar{w}_M)z - (w_3 - w_M)\bar{z} = w_M\bar{w}_3 - \bar{w}_M w_3 \quad \cdots \textcircled{7}$$

である. ここで

$$w_M = \frac{w_1 + w_2}{2}$$

であり

$$\begin{aligned} w_3 - w_M &= (w_2 - w_M) \left(\cos \frac{\pi}{2} + i \sin \frac{\pi}{2} \right) \\ &= \left(w_2 - \frac{w_1 + w_2}{2} \right) i \\ &= \frac{i}{2} (w_2 - w_1) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} w_M\bar{w}_3 &= w_M \overline{\left\{ w_M + \frac{i}{2} (w_2 - w_1) \right\}} \\ &= w_M\bar{w}_M - \frac{i}{2} w_M(\bar{w}_2 - \bar{w}_1) \\ &= w_M\bar{w}_M + \frac{i}{4} (w_1 + w_2)(\bar{w}_1 - \bar{w}_2) \\ &= w_M\bar{w}_M + \frac{i}{4} (w_1\bar{w}_1 + w_2\bar{w}_1 - w_1\bar{w}_2 - w_2\bar{w}_2) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore w_M\bar{w}_3 - \bar{w}_M w_3 &= w_M\bar{w}_3 - \overline{w_M\bar{w}_3} \\ &= \left\{ w_M\bar{w}_M + \frac{i}{4} (w_1\bar{w}_1 + w_2\bar{w}_1 - w_1\bar{w}_2 - w_2\bar{w}_2) \right\} \\ &\quad - \left\{ \bar{w}_M w_M - \frac{i}{4} (\bar{w}_1 w_1 + \bar{w}_2 w_1 - \bar{w}_1 w_2 - \bar{w}_2 w_2) \right\} \\ &= \frac{i}{2} (\bar{w}_1 w_1 - \bar{w}_2 w_2) \end{aligned}$$

であるから, $\textcircled{7}$ は

$$-\frac{i}{2} (\bar{w}_1 - \bar{w}_2)z - \frac{i}{2} (w_2 - w_1)\bar{z} = \frac{i}{2} (\bar{w}_1 w_1 - \bar{w}_2 w_2)$$

$$\therefore (\bar{w}_2 - \bar{w}_1)z + (w_2 - w_1)\bar{z} = w_2\bar{w}_2 - w_1\bar{w}_1$$

となる.

- (4) $A(w)$ と $B(\bar{w})$ は実軸について対称であり, $\triangle OAB$ の外心 $Q(v)$ は実軸上にある. したがって, v は実数であり

$$\bar{v} = v \quad \cdots \textcircled{2}$$

が成り立つ. また, $Q(v)$ は OA の垂直二等分線上にあるので, (3) の結果より

$$(\bar{w} - \bar{0})v + (w - 0)\bar{v} = w\bar{w} - 0\bar{0}$$

$$(\bar{w} + w)v = w\bar{w} \quad (\because \textcircled{2})$$

が成り立つ. $A(w)$ が虚軸上にないから, $\bar{w} + w \neq 0$ であり

$$v = \frac{w\bar{w}}{w + \bar{w}} \quad \cdots \text{.....(答)}$$

である.